

## ■e-黒板ニュース（第7号）：教員研修と電子情報ボードのメリット

子どもたちは夏休みに入りましたが、それぞれの教育委員会・教育センター等では、多くの教員研修が実施されています。

今日は、東京都文京区の水道橋にある東京都総合技術教育センターを訪問して、e-黒板研究会会員の榎本竜二先生の教員研修を見学させてもらっています。

また、岡山県の平松茂さんからは、佐賀市での教員研修報告をいただきました。「来年度の研修では、電子情報ボードに変わるのでは」と平松さんは述べられています。（関）

今号の目次：

- =====
1. 潜入ルポ：東京都総合技術教育センターの夏季研修会
  2. 会員からの投稿：佐賀市での教員研修報告
- =====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。また、配信中止のご連絡もお願いします。

会員の皆様からの投稿もお待ちしています。現在募集中のテーマは、  
 ・「電子情報ボードを活用した授業実践事例集」CD-ROMを利用した教員研修  
 ・「電子情報ボードの教育的効果」について：ご意見・実践事例等  
 ・企業からの「お得情報」：機器の貸出・特別価格制度・モニター募集等  
 です。

宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

### 1. 潜入ルポ：東京都総合技術教育センターの夏季研修会

地下鉄で約20分。CECのある白金高輪から東京ドームのある水道橋の東京都総合技術教育センターです。

「教科（情報）フォローアップ・コンピュータ室管理」という研修で、都内の先生方が20名参加されています。このセンターには、今年度初めて、電子情報ボードが導入されたということで、この夏の研修会ではe-黒板を活用した研修を実施するとい

うので、お邪魔しています。

8月2日と3日の2日間のコースで、内容は、

- ・生徒データの管理とバックアップ
- ・ウィルスチェックと環境復元
- ・ネットワークの基礎知識
- ・パソコン室や校内LANの活用と管理

です。

講師の榎本先生によると、「ただの提示装置としての利用ですから。」と言われていましたが、それでもしつかり電子情報ボードの有効性をまのあたりにすることができました。パソコン教室では、各生徒機のモニタを見てもらいながら授業を進めるのが一般的ですが、電子情報ボードでパワーポイント資料を提示して、ペンでマークしながら説明をすることで、受講者の視点を一致させ、要点を注視させることに成功していました。

榎本先生のご説明では、

- ・写せる
  - ・書き込める
  - ・保存できる
- という基本的な機能をなメリットとして挙げておられました。  
 導入時に配慮すべき点としては、フロント型の場合プロジェクターのランプが高価であり、故障時に問題となる場合があることも指摘されていました。

bectaのホームページ (<http://www.becta.org.uk/>) によると、電子情報ボードのメリットは、

#### 【一般的なメリット】

- ・学年・カリキュラムにかかわらず利用可能
- ・教える時間を確保可能
- ・インタラクション・ディスカッションの機会の増加
- ・素材を生かし動きを高めて楽しく学習可能

#### 【先生のためのメリット】

- ・授業でのICTの活用
- ・フレキシブルな活用
- ・電子情報ボード上の記述を保存・印刷可能
- ・容易な操作
- ・教材の共有と再利用
- ・教授法の変革

#### 【子どもたちのためのメリット】

- ・参加と共同作業による楽しさ・動機付け

- ・ノートをとるわずらわしさの低減
- ・多様な学習方法が可能
- ・様々な工夫できるプレゼンテーション
- ・キーボードを使わず低学年や障害児でも使用可能

だそうです。

(以上の要点は、三菱総研の佐藤慎一さんに教えていただきました。)

みなさんは、どう思われますか？ e-黒板研究会では、「電子情報ボードの有効な活用方法の研究」をテーマの一つとしています。皆様方からのご意見をお待ちしています。また、教員研修の体験談等もぜひお知らせ(投稿)下さい。よろしくお願いします。

## 2. 会員からの投稿：佐賀市での教員研修報告(岡山県の平松茂さんからのメール)

佐賀の様子をお伝えします。

「平成16年度 I Tを活用した指導の拡充のための指導者の要請を目的とした研修」が平成16年7月26日(月)～30日(金)に佐賀市で実施されました。  
小学校・九州・沖縄地区の先生方39名が熱心に研修を受けておられました。内、佐賀県からは地の利を生かして21名が参加でした。

私が、担当した28日水曜日午前中には、岡山県の事例を具体的にお話ししながらコンテンツ、電子情報ボード、プロジェクトが導入された教室を想定した実践と評価を進めていることをお話ししました。

「電子情報ボードを活用した実践事例集」CD-ROM

<http://www.cec.or.jp/Ekokuban2004/index.html>

に収録されている「みて！みて！ I T」

<http://www.cec.or.jp/Ekokuban2004/mitemitelT/index.htm>

いろいろな場面で活用しましたので、電子情報ボードの認識も高まったと思います。  
ご準備頂きましたCEC制作のCDも、受講者の先生方にお渡ししました。

感想は？ といえば、多くの先生方が、新しい機器をご存じでなかったり、教育用の画像素材が開発されていることや、電子教科書が研究されていることなどの状況をほとんど把握しておられないことが分かりました。

質疑応答の時間に、「私たちはこういう情報さえ教えていただけてない。後進県といわれるのも無理はない」との声がありました。

また、雑談時、「女性が2・3人しか参加していないのも問題。教師の比率からすると半分以上が女性でもいい。まだまだ、I Tは難しいのではないか。(ハードルが高い?)」ともありました。

普及・啓発の効果はあったと思います。

「スクリーンをクリックしても ただ幕の面が揺れるだけ！」のくだりは、大受けでした。

来年度の研修では、電子情報ボードに変わるのではと思います。

以上 報告でした。(平松 茂)

以上

=====  
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一  
メールアドレス： [ekokuban@cec.or.jp](mailto:ekokuban@cec.or.jp)  
=====